

	長崎大学 保健系分野（歯学）
学部・研究科名	歯学部（第1年次：50名） 医歯薬学総合研究科（M：68名、D：100名）
沿革・設置目的	昭和54年、歯学に関する教育・研究を行うことを目的とし、長崎大学歯学部が設置された。 昭和24年（1949年） 長崎大学設置 昭和54年（1979年） 長崎大学歯学部設置 昭和61年（1986年） 大学院歯学研究科設置（平成14年医歯薬学総合研究科に改組） 平成16年（2004年） 国立大学法人に移行
強みや特色などの役割	<ul style="list-style-type: none"> ○ 長崎大学の理念等に基づき、責任感、社会性、倫理観、豊かな人間性、コミュニケーション能力、協調性、リサーチマインドを備え、先進的な歯科口腔医療に対応できる幅広い知識と基本的技能を身につけた人材を育成する。特に、離島等の地域歯科口腔医療について保健・医療・福祉の側面から総合的に考えることができる歯科医師、及び高度の専門的知識と経験、課題探求能力を身につけた研究者・教育者の養成を積極的に推進する。 ○ 硬組織研究、歯周病研究、歯科東洋医学をはじめとする各領域における研究の実績を活かして、国内外の硬組織・歯周病研究の拠点化を推進し、睡眠時無呼吸症候群の治療装置などの新たな医療技術の開発・実用化や医療水準の向上を目指すとともに、次代を担う人材を育成する。 ○ 超高齢社会に対応した摂食嚥下リハビリテーションや新たな歯科診療モデルの構築を目指した周術期口腔ケアの充実をはじめとする医科歯科医療連携の推進、多職種連携による在宅療養支援等の取組や離島での歯科医療・保健に関する体験学習の実施、歯科医師の確保が困難な離島等への教員派遣等の取組により、長崎県等における地域歯科医療の中核的役割を担うとともに、ケニアの無歯科医地区における口腔健康調査をはじめ、国際的な歯科医療・歯学教育の発展に貢献する。